

1 目的

指宿地域は農業生産の地域であり、本校も就農、農業系進学、関連産業への進路を目的に、野菜・花卉の研究・栽培、サツマイモ苗の生産、地域食材を活かした加工品製造や新商品開発の学習活動を展開している。しかし、近年、入学者数が少なく非農家率も高い状況である。今年度の入学生の中には就農希望や農業に興味があるという理由での入学者もいる。今後、研修視察やインターンシップを通じて就農希望者を増やすことを目標とする。また、フラワー装飾技能の資格を活かしながら競技会等への参加等にも力を入れる。

2 実施状況

(1) 農業視察研修の実施

鹿児島県農業総合開発センター及び農業大学校への研修視察を行った。農業総合開発センターでは、野菜部門を中心に施設を見学しながら説明を受けた。本校では、最近、県で育成された実エンドウの新品種「まめこぞう」を栽培やPR活動にも力を入れており、その育成施設での研修は効果的であった。

また、菜の花の栽培試験は指宿市との関係も深く、地域との連携を強く感じた。

(2) 営農の門出を励ます会の実施

3年生9名中5名は大学農学部、農業大学校、農業法人、農業関係企業への進路であった。来賓からの励ましの言葉には、指宿市を含む南薩地域の明るい農業の将来像についての話もあり、1～3年生の意識も高まるとともに3年生の抱負発表も充実しており、1・2年生も興味深く聞き入った。

3 今後の課題、取組

指宿市の主産地である実エンドウ、ソラマメの栽培やダイズの栽培、豆腐作りの学習を行い、マメ科野菜についての知識を持たせる。また、草花の栽培とフラワーデザインを通してフラワー装飾の技能試験の取得を目指し、その知識・技術を活かせる進路へとつなげることを目標とする。



農業総合開発センター実エンドウの見学



農業総合開発センター菜の花の見学



営農の門出を励ます会